

With Dam ★ Night in Chubu 開催報告

活性化推進小委員会 中部・近畿幹事 木下 靖
活性化推進小委員会 中部・近畿幹事 赤松 利之

1. はじめに

ダム工学会活性化推進小委員会中部・近畿ブロックでは、地域活動の一環として、平成23年度よりダムの広報イベント「With Dam ★ Night」を開催してきました。

15回目となる今回は、名古屋にあるトーキイベント会場を貸し切って開催致しました。また、同日の昼間にスペシャルツアーと称して岐阜県の内ヶ谷ダムの見学会も催しました。以下に、開催概要を報告致します。

表 1.1 中部・近畿ブロックが過去に開催したwith Dam ★ Night

開催日	イベント名	開催コンセプト	会場
H23.12.8	with Dam ★ Night in Kansai	土木学会主催の「どぼくカフェ」と共催	京都大学
H24.6.3	with Dam ★ Night in Kyoto	国際大ダム会議京都大会特別企画	京都駅ビル
H25.11.18	with Dam ★ Night in Nagoya	土木の日企画	名古屋大学
H26.9.11	with Dam ★ Night in Osaka	土木学会全国大会（大阪大会）との同日企画	グランフロント大阪
H27.8.27	with Dam ★ Night in Fukui	水シンポジウムと同日企画	AOSSA (JR 福井駅東口再開発ビル)
H28.11.16	with Dam ★ Night in Kobe	—	兵庫県私学会館
H29.11.14	with Dam ★ Night in Kisogawa	—	シティホテル 美濃加茂
H30.11.14	with Dam ★ Night in Kizugawa	—	名張産業振興センター アスピア
R01.8.22	with Dam ★ Night in BIWAKO	水シンポジウムと同日企画	ピアザ淡海
R02.11.3	with Dam ★ Night in HOME	新型コロナウイルス感染予防対策を講じた開催	東京カルカルよりリモート配信
R03.11.2	with Dam ★ Night in HOME+	新型コロナウイルス感染予防対策を講じた開催	梅田ラテラルよりリモート配信
R04.10.28	with Dam ★ Night in HOME+	新型コロナウイルス感染予防対策を講じた開催	梅田ラテラルよりリモート配信
R05.10.27	with Dam ★ Night in KINOKAWA+	—	梅田ラテラルよりリモート配信
R06.11.29	with Dam ★ Night in NARA	—	梅田ラテラルよりリモート配信
R07.11.28	with Dam ★ Night in Chubu	—	ウインクあいち (リモート配信併用)



ダム。それは人類の知恵と科学技術の結晶。
それは、驚きと発見のドラマ。

写真：佐久間ダム

会 場：ウインクあいち 11階1104室
(愛知県産業労働センター)

会場参加費：1,000円/人（軽食付）

募集人数：20名

*WEB参加の方は、予約不要・無料です。

2025.11.28 FRI

18:00～20:00 (受付開始17:30)

◆ With Dam ★ Night とは

ダムとは、洪水対策や利水補給のための重要な社会インフラであり、多くの方々の協力の結晶として造られるものです。この意義を将来世代に引き継ぐため、ダムを愛する方々が交流する一夜だけのイベント、それが With Dam ★ Night です。

今年は中部地方のダムにスポットをあて、ダムにおける土砂管理の歴史や技術など盛り沢山の情報を発信します！

今回は会場での対面参加（希望者抽選）と同時にWEB配信も行います。ダムファン、ダム初心者のみなさん、会場あるいはご自宅で、ダムの世界をご堪能ください！

また当日昼間にはスペシャルツアーとして完成間近の内ヶ谷ダム（岐阜県）の見学ツアー（希望者抽選）も開催します。

18:00	開会挨拶（海外の土砂バイパス事例） 角 哲也（ダム工学会 会長）
18:20	18:20～18:30 イントロダクション（土砂管理の概要） 夜 鶴（ダムマイスター（一般）01-003）
	18:30～18:55 佐久間貯水池再開発と土砂管理戦略 恩田 千早（電源開発 中部支店 支店長代理）
	18:55～19:20 ダム、土砂との関係 佐藤 正俊（中部電力 電力技術研究所 研究主幹）
	19:20～19:45 ダムが及ぼす河道への影響と 今後期待したい役割 溝口 敦子（名城大学 教授）
19:45	総評（全体所感） 戸田 祐嗣（名古屋大学 教授）
19:55	閉会挨拶 森本 雄（国土交通省中部地方整備局 局長）

司会者：夜鶴

*敬称略 *プログラムは予告なく変更する場合があります。

◆ WDNオプション！

内ヶ谷ダムスペシャルツアーアー

詳しくは別紙ツアー案内をご参照ください。

◆ 会場参加の応募はこちら

定員20名！

QRコード
2025年11月1日（土）～11月14日（金）
http://www.jsde.jp/kassei/kassei_R07wdn-chubukinki_annai.html

応募人数が募集人数を上回る場合は抽選となります。
抽選結果は、11/18までにご連絡いたします。

◆ WEB参加者用視聴URL

参加費無料！

QRコード
当日は開催時間になり次第、URLよりご参加ください。
<https://x.gd/r9Ytq>

2025年12月14日（日）まで視聴可能

一般財団法人ダム技術センター内 ダム工学会

“With Dam ★ Night” 中部・近畿ブロック事務局

担当：木下 TEL: 06-6206-5701 E MAIL: y-kinoshita@ctie.co.jp
担当：赤松 TEL: 06-6274-4279 E MAIL: akamatsu@newjac.co.jp

本稿：一般財団法人ダム工学会

後援：一般財団法人日本ダム協会／ダム工事技術実習指導者会

協力：国土交通省 中部地方整備局／中部電力株式会社／電源開発株式会社

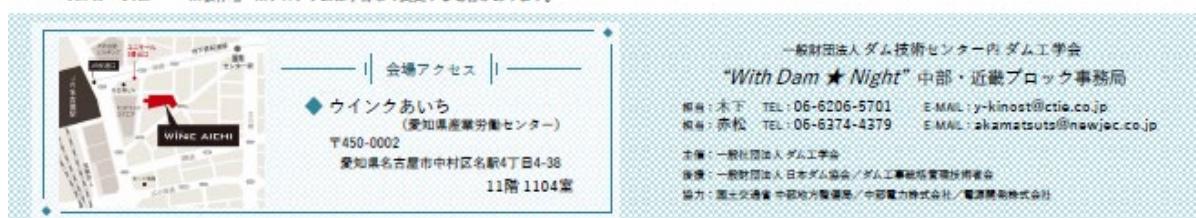


図 1.1 With Dam ★ Night in Chubu パンフレット

2. With Dam ★ Night in Chubu

開催概要は以下のとおりです。

●開催日時：令和7年11月28日（金） 18:00～20:00

●プログラム：18:00～18:05：開会挨拶

角哲也（ダム工学会 会長）

18:05～18:30：イントロダクション（土砂管理の概要）

夜雀 様（ダムマイスター（一般）01-003）

18:30～18:55：佐久間貯水池再開発と土砂管理戦略

恩田千早 様

（電源開発株式会社 中部支店 支店長代理）

18:55～19:20：ダム、土砂との闘い

佐藤正俊 様

（中部電力 電力技術研究所 研究主幹）

19:20～19:45：ダムが及ぼす河道への影響と今後期待したい役割

溝口敦子 様（名城大学 教授）

19:45～19:55：総評（全体所感）

戸田祐嗣 様（名古屋大学 教授）

19:55～20:00：閉会挨拶

森本輝 様（国土交通省 中部地方整備局 局長）

●司会進行：夜雀様（ダムマイスター（一般）01-003）

●会場での公聴およびTeamsによるライブ配信

ウインクあいちの会場にて開催するとともにTeamsによるライブ配信を実施しました。また視聴者の皆様にも番組に参加いただく方法として、配信中にチャットでコメントを寄せていただく方法を採用しました。

以下に開催内容の概要を記載します。

(1) 配信内容

表 2.1 配信内容

演 目	講演者
イントロダクション（土砂管理の概要）	■夜雀 様 (ダムマイスター(一般) 01-003)
佐久間貯水池再開発と土砂管理戦略	■恩田千早 様 (電源開発株式会社 中部支店 支店長代理)
ダム、土砂との闘い	■佐藤正俊 様 (中部電力 電力技術研究所 研究主幹)
ダムが及ぼす河道への影響と今後期待したい役割	■溝口敦子 様 (名城大学 教授)

■オープニング

ダム工学会角会長より、開会挨拶としてお言葉を頂戴致しました。

ダム工学会の在り方について提言をいただいた後、海外ダムの排砂バイパスの事例についてご紹介いただきました。



写真 2.1 開会挨拶



写真 2.2 ウインクあいちでの配信状況

左) ダム工学会会長角哲也氏

右) 夜雀様 (司会)

① イントロダクション（土砂管理の概要）

夜雀 様

ダムマイスター（一般 01-003）

夜雀様より、日本国内におけるダム土砂管理の概要についてご紹介いただきました。

最初にダムの堆砂の進行過程についてご説明いただき、佐久間ダムや小渋ダムを例に、土砂浚渫や排砂バイパスといった複数のダムの土砂管理方法についてご紹介頂きました。

排砂バイパスについてはダムに限らず、神戸市や別府市の水道用施設での事例もご紹介いただき大変興味深いご講演でした。



写真 2.3 夜雀様



写真 2.4 ダムにおける堆砂の進行過程

② 佐久間貯水池再開発と土砂管理戦略

恩田千早 様

(電源開発株式会社 中部支店 支店長代理)

電源開発株式会社の恩田様より、天竜川において電源開発株式会社様により管理されている佐久間ダムについて、歴史と貯水池再開発、土砂管理についてご紹介いただきました。

佐久間ダムは竣工から 69 年が経過し、戦後日本の復興期に水力発電開発が急務であることをご説明いただきました。

堆砂対策については佐久間ダムと下流側に位置する秋葉ダムの事例を紹介いただき、連合艦隊と呼ばれるほどの数の船による浚渫、職人芸のように操作が行われるグラブ浚渫には大変興味を惹かれる内容でした。採用に至らなかった土砂管理手法にカプセルライナーという聞きなれない手法もご紹介いただきました。

ご講演の最後には、AI による未来の佐久間ダムの画像を示していただき、会場は大変盛り上りました。



写真 2.5 恩田千早様

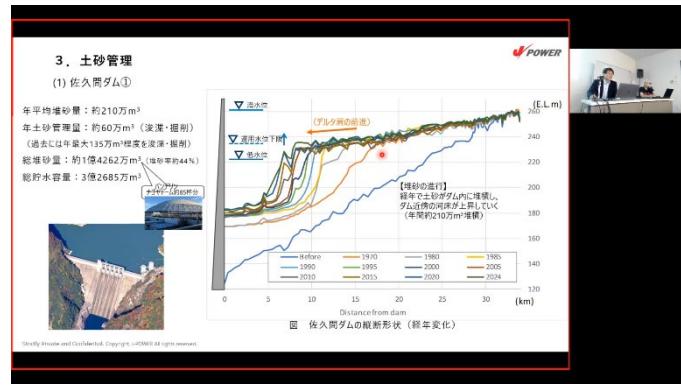


写真 2.6 佐久間ダムの土砂管理

③ ダム、土砂との闘い

佐藤正俊 様

(中部電力 電力技術研究所 研究主幹)

中部電力株式会社の佐藤様より、大井川における中部電力様により管理されている千頭ダム、大間ダムの各設備における堆砂に対する対策についてご紹介いただきました。

千頭ダムでは排砂路に損傷が発生しており、洗堀摩耗対策として花崗岩張りやレール敷、鋼板被覆、耐摩耗鋳鋼板などの複数種類の興味深い工法が試されていたようで、多くの工法では効果が現れず、摩耗対策に大変苦労されているということがうかがえました。



写真 2.7 佐藤正俊様



写真 2.8 千頭ダム排砂路の損傷状況

④ ダムが及ぼす河道への影響と今後期待したい役割

溝口敦子 様
(名城大学 教授)

名城大学の溝口様より、中部地方の地質・地形から、ダムが下流河道へ及ぼす影響、ダムに期待する役割についてご紹介いただきました。

大井川や天竜川を例に航空写真の比較を行うことで、上流からの土砂供給により、下流河道の地形が実際に変化しているという内容をご説明いただきました。

最後の方には実験の映像を流していただき、粗粒分の土砂のみ堆積している水路に細粒分の土砂が流れ込むと、それまで動かなかった粗粒系の土砂が下流へと流れ始めるという非常に興味深い結果となり、会場は大変盛り上がりいました。

ダムの堆砂対策などの境界条件により、下流河道の地形が変化するということがよく理解できました。



写真 2.9 溝口敦子様



写真 2.10 大井川・天竜川における

河道内地形変化状況

(2) 総評・閉会の挨拶

名古屋大学の戸田様より総評を、国土交通省中部地方整備局局長 森本様より、閉会の挨拶をいただきました。

3. さいごに

今回の With Dam Night は、久しぶりの対面でのトークショーという形での開催となりました。会場での参加者は、社会人 43 名、大学生 17 名の計 60 名の参加者数でした。Teams 配信も併用することにより、お住まいに関係なく気軽に参加できるという長所を残しつつ、ダムについての魅力を十分に発信できたと思います。

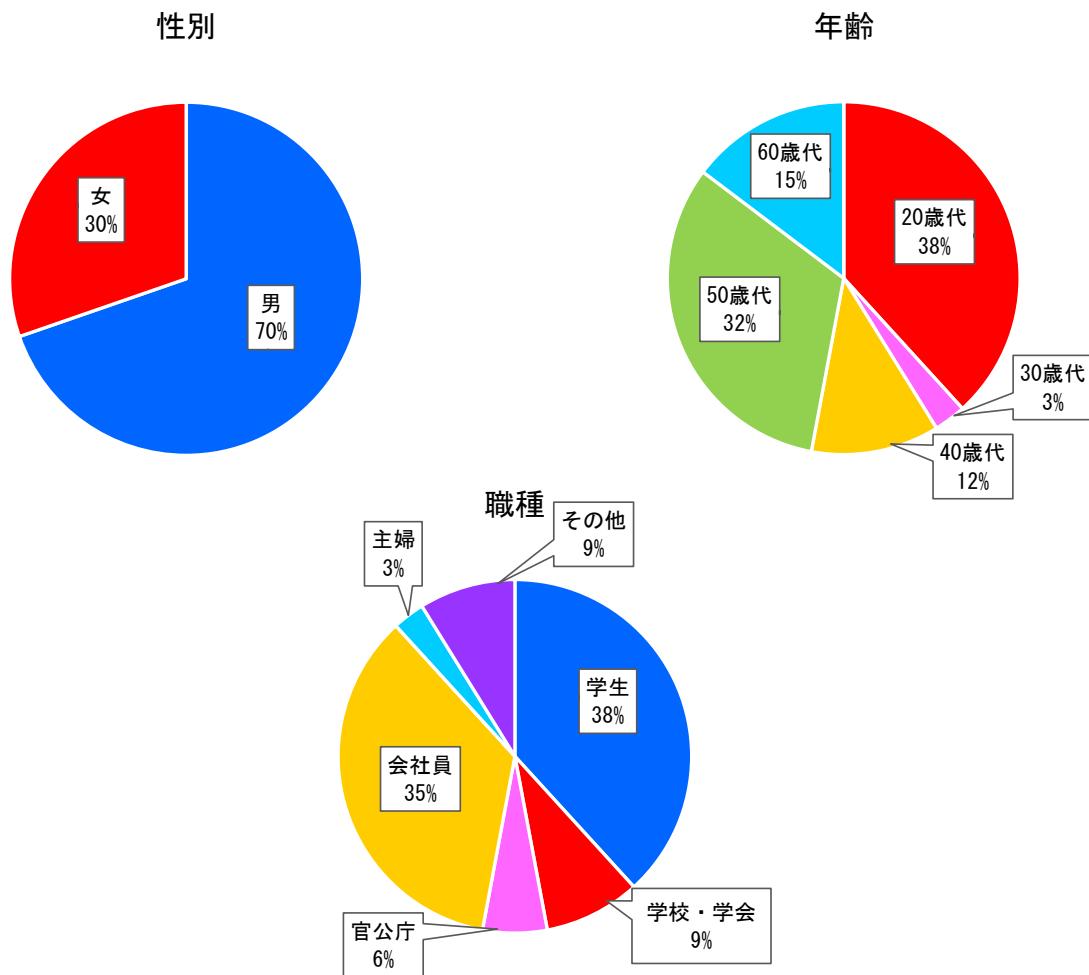
次頁以降に参加者の皆さまのアンケート結果を掲載いたしますが、見学会、トークショーともに概ね満足いただいた結果となりました。

ダム工学会中部・近畿ブロックにおきましては、今後も、現場見学会をはじめ様々な形でダムの魅力を直接肌で感じることのできるイベントも開催してゆきたいと思います。

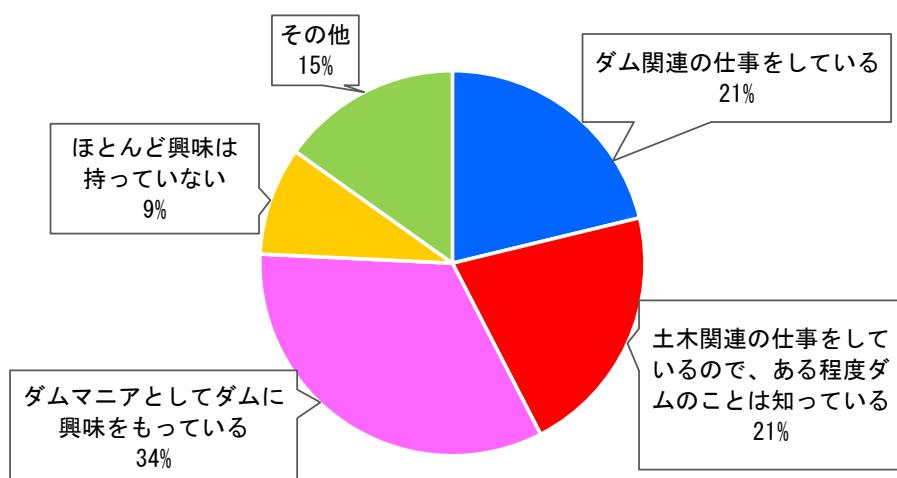
最後に、イベントにご協力いただいたダム工学会 角会長、ダムマイスターの夜雀様、電源開発株式会社 中部支店 支店長代理 恩田様、中部電力 電力技術研究所 研究主幹 佐藤様、名城大学 溝口教授、名古屋大学 戸田教授、国土交通省中部地方整備局 森本局長などの関係者の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

● アンケート結果

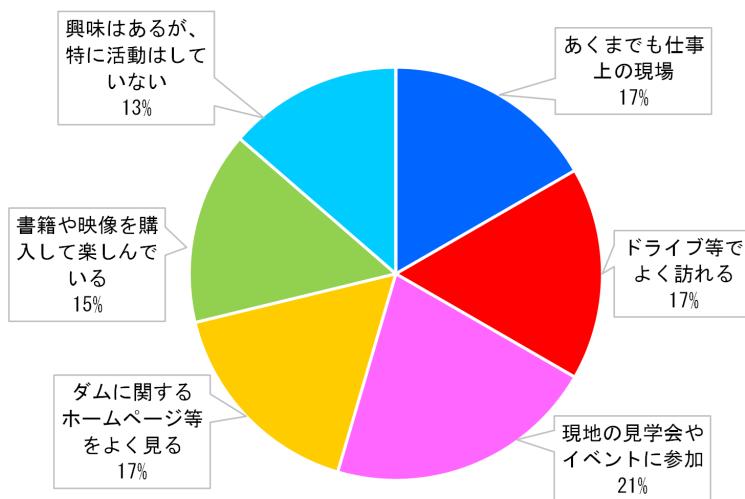
1. 参加された方の性別、年齢、職種等



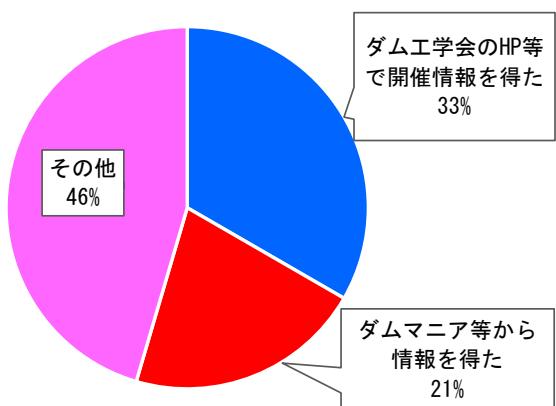
2. あなたのダムへの関わりは？



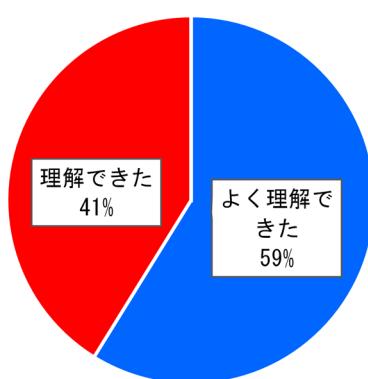
3. あなたは日頃どのようにダムと接していますか？（複数可）



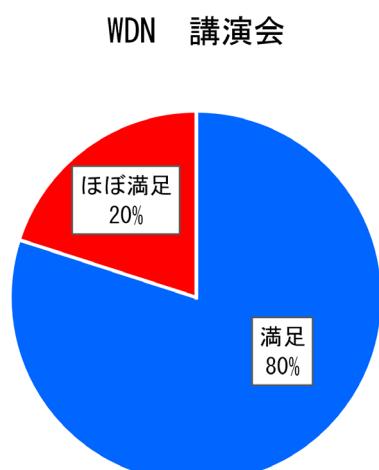
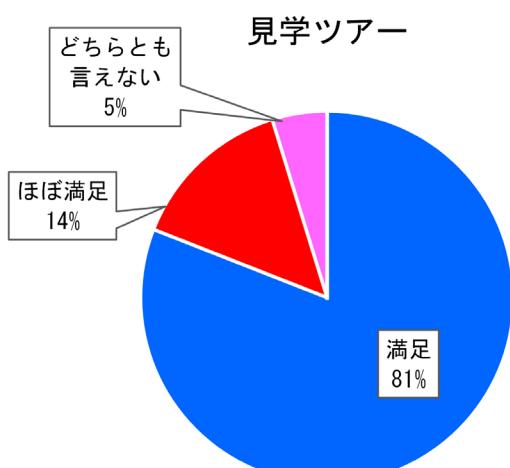
4. このイベントに参加された理由



5. 当イベントの開催趣意は理解されましたか？



6. 見学ツアー（岐阜県内ヶ谷ダム）、WDN（ウインクあいち 11階 1104室）の講演会等の内容はどうでしたか？



内ヶ谷ダムスペシャルツアーオンライン開催報告

ダム工学会活性化推進小委員会_中部・近畿ブロックでは、2025年11月28日、With Dam ★ Night の開催に合わせて、内ヶ谷ダムスペシャルツアーオンラインを開催しました。

内ヶ谷ダム スペシャルツアーオンライン

2025.11.28 FRI 8:30~17:00

申込期限
11/1 ➡
11/14

参加費 3,000円 (昼食代+バス代+WDN参加費(軽食付))

募集人数 20名

WDNへの参加が必須のため、スペシャルツアーオンラインのみの参加はできません。
※応募人数が募集人数を上回る場合は抽選とさせていただきます。
抽選結果は、11/18までにご連絡いたします。

スケジュール

8:30	JR名古屋駅 集合
8:45	出発
8:45~10:30	JV下部事務所へ移動 (途中SA等で小休憩)
10:40~11:30	概要説明 (事業概要/岐阜県、施工概要/JV)
11:30~12:10	昼食
12:20~13:00	現場へ移動
13:00~14:00	現場見学
14:00~14:30	ダムサイト訪所 (意見交換)
14:30~17:00	名古屋へ移動 (途中SA等で小休憩)
17:00	WDN会場 到着

集合場所

拡大図

お申込み方法
HPよりお申込みください ➡ <http://www.jsde.jp>

お申込みは
こちら

QRコード

内ヶ谷ダム スペシャルツアーオンライン
主催:ダム工学会活性化小委員会 中部・近畿ブロック

事務局: (TEL 木下: 090-3261-7588 / 赤松: 080-1402-2016)

【開催報告】

1. 開催日時

2025年11月28日（金）

2. 参加者

参加人数は33名（大学関係17名（教授2名、学生15名）、一般12名、事務局4名）と、今回は大学関係の出席者が多かったのが特徴でした。

また、一般枠では、多くのダム愛好家の方々に参加して頂きました。

3. 内ヶ谷ダムの概要

長良川沿川地域は、昭和34年、35年、36年の災害、昭和51年9月、平成2年9月の台風、更に近年では、平成11年9月、平成14年7月及び平成16年10月の台風による出水により、度々大きな災害を受けてきました。

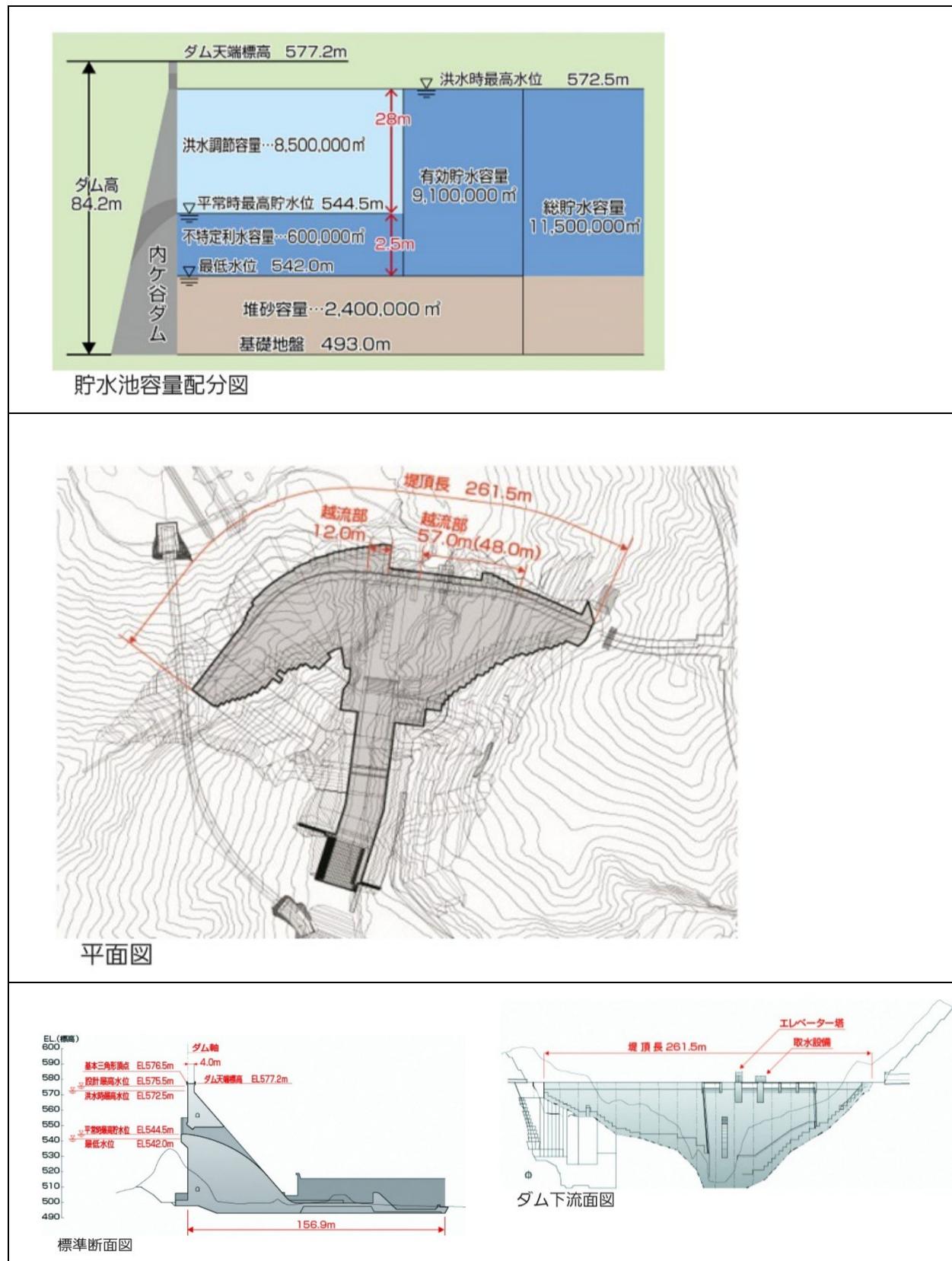
一方、当流域は、東海北陸自動車道や東海環状自動車道等の交通網の発達により、奥美濃地域における観光や、中流域を中心に製造業が発展し、流域全体の治水安全度の向上が求められています。

表1 内ヶ谷ダムの概要

ダム諸元	目的	洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電
	位置	岐阜県郡上市大和町内ヶ谷
	型式	重力式コンクリートダム
	堤高	84.2 m
	堤長頂	261.5 m
	堤体積	約330,000 m ³
	計画高水流量	880 m ³ /s
	ダム設計洪水流量	950 m ³ /s
	ダム天端標高	EL. 577.2 m
貯水池諸元	集水面積	39.9 km ²
	湛水面積	0.46 km ²
	総貯水容量	11,500,000 m ³
	有効貯水容量	9,100,000 m ³
	堆砂容量	2,400,000 m ³
	設計最高水位 HWL	EL. 575.5 m
	洪水時最高水位 SWL	EL. 572.5 m
	平常時最高水位 NWL	EL. 544.5 m

このような背景から、岐阜県では、河川改修に加えて内ヶ谷ダムの建設を行い、ダムの洪水調節により、ダム下流域の洪水被害の軽減を図ります。

また、河川の流量が不足しているときに、ダムから貯留水を補給することによって、亀尾島川沿川の既得用水の安定取水、亀尾島川の河川環境の維持・保全を図ります。



4. ツアーハイライト

当日は秋晴れの見学会日和で、2台の中型バスに分乗し、名古屋駅前から現場に向けて出発しました。内ヶ谷ダム作業所に到着後は、先ず会議室にて、岐阜県様から事業の概要を、また、JV様から施工概要についてPTPを使って説明を頂きました【写真1,2】。施工中に判明した新たな地質情報に適応してダム軸を曲げ造成岩盤を採用した設計変更の内容や、急峻な地形や屈曲している堤体形状に配慮した仮設備の配置など、特に設計・施工上の特徴や苦労した点について詳しく説明して頂きました。

会議室で昼食を取った後は、約40分かけてダム建設現場に移動しましたが、多くのカーブを繰り返しながら狭い谷を抜けていく道路を走ってみて、「見学会には大型バスではなく必ず中型バスでお越し下さい…。」と言われた意味が良くわかりました。

そして、ダムサイトへはダムを迂回している左岸の道路トンネルから分岐トンネルを経由して到着しました。先ず左岸上部の展望台から巨大な堤体を見下ろしながら、現場状況の説明を受けました。堤体のコンクリート打設は約97%終了しているということで、この日はわずかに残った堤頂部の施工が行われていましたが、プレキャスト型枠を使った効率的な施工の様子を見ることが出来ました【写真3～7】。まるでアーチダムのように見える内ヶ谷ダムの全貌は、展望台からはなかなか分かりづらく、写真にも納めきれない状況でしたが、頂部掘削の法面の小段から堤体を俯瞰するアンダーブリッジで撮った集合写真で堤体の様子はよくわかると思います【写真8】。

その後下流へ移動し、バッチャープラントの脇から、減勢工の導流壁を生コンでポンプ打設している様子を見学させていただきました。その背面に見える既に打設が完了した堤体、洪水吐き、造成岩盤の外観は、なかなか他ダムでは見られない特徴的で感動的なものでした【写真9～13】。

最後に、現場詰所で約30分の質疑応答が行われ、設計変更の経緯、洪水吐きのレイアウト、水理模型実験での検討内容、堆砂対策、地球温暖化への配置等、様々な質問が参加者から発せられました【写真14】。これらの質問に対しては、岐阜県様及びJV様から真摯に丁寧に回答を頂き、無事見学会は修了しました。

今回は、学生の参加が15名と例年になく多く、内ヶ谷ダムの現場の体験を通じて、ダムの魅力を存分に感じてもらえたと思っています。これをきっかけに一人でも多くの学生がダム工学の道に進んで頂き活躍してもらいたい、そんなことを切に思う見学会となりました。

ダム工学会中部・近畿ブロックとしましては、引き続き様々な形でダムの魅力を発信していくたいと思っております。今後とも、ダム工学会中部・近畿ブロックの活動にご期待下さい。

以上

5. 状況写真

写真 1_岐阜県様からの事業概要説明



写真 2_JV 様からの施工概要説明



写真 3_左岸天端展望台より堤体を望む



写真 4_左岸天端展望台より堤体を望む



写真 5_堤頂部施工状況



写真 6_左岸天端展望台からの見学の様子



写真 7_左岸天端展望台からの見学の様子



写真 8_左岸天端展望台での集合写真



写真 9_堤体下流に移動



写真 10_堤体下流に移動



写真 11_堤体下流から堤体を望む



写真 12_堤体下流からの見学の様子



写真 13_堤体下流での集合写真



写真 14_現場見学後の質疑応答



写真 15_内ヶ谷ダムスペシャルツアーナンバーワン

